

で、保育現場の業務効率化と保護者の使用済み紙おむつ持ち帰りの負担軽減を図ってまいります。

本年度より、次世代育成クーポンに変わり未来わくわく支援金を創設したことをはじめ、青少年育成支援金を未来旅立ち支援金に変更しています。それぞれ経過措置を本年度に限り設けております。また、高校生年代の医療費助成については、町の青少年医療費助成を東京都の高校生等医療費助成(マル青)制度に移行します。

また、国の少子化対策、こども・子育て世代への支援施策である、妊娠時から出産・子育てまで一貫した相談支援と経済支援を一体的に実施する「出産・子育て応援事業」を進めてまいります。

町では新たな子育て支援策として、給付中心の少子化対策から誰もが子育てしやすい環境を整備し、切れ目のないきめ細やかな子育て支援を実現していくため、子育て世代の皆さまが気軽に立ち寄り相談できる機関として、こども家庭センターを令和6年度に設置するべく、開設にむけての準備を進めてまいります。

■高齢者・障がい者支援・社会保障等  
高齢者外出支援バス事業、おでかけ支援ドリームカー事業では、コロナ感染防止対策を講じながら、コミュニティバスとの関連性を検証しつつ、事業のあり方を更に研究してまいります。

障がい者支援については、自立支援や就労支援、施設への入所など障がい者それぞれの状況に応じて適切なサービスの提供を図ってまいります。

高齢者医療費助成事業や、元気健康長生き医療費助成事業、がん医療費助成、元気に長生き奨励金については、本年度は引き続き継続いたしますが、6年度から変更いたします。持続可能な福祉制度の構築を図るため、熟慮を重ねた末での決定であることを、どうかご理解ください。

また、国では、2024年の介護保険制度改正に向けた検討がなされており、地域包括ケアシステムのさらなる深化・推進等、議論が進められております。

町においても日の出町高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定に向け、諮問機関である介護保険事業計画等運営協議会にて制度の持続可能性を確保すべく、インフォーマルサービスを含め、地域で支え合いを行う生活支援体制整備の推進、フレイル予防など、社会保障の充実に向けて検討してまいります。

3 元気のある活気に満ちた 商工観光業・農林業の振興

■農林業  
農業については、引き続き「ひのでトマト」のブランド化を町内農業者の皆さまと進めるための普及促進補助金を継続いたしますほか、長年にわたり不具合が

あった油田井戸の改修工事を行い、利用者への農業用水の供給事情に資することといたします。

林業については、森林施業の機械化などを図るため、事業をしばって林道の改良工事を行うてまいります。また、令和元年の台風19号による被害については、入札不調の影響を受けつつも、計画通り令和7年度の完成をめざし復旧を図ってまいります。

■商工観光業  
住環境整備事業補助金及び新たな雇用の創出のための創業等支援補助金を継続し、産業の振興・発展や定住促進を図ってまいります。

また、ひのでちゃん行政カードなど、町民と事業者双方のニーズを満たす新たな事業を検討してまいります。

観光まちづくり事業についても、毎年、多様なアイデアが寄せられ成果を上げており、またこれは「プラスワン」のみんなで進める協働のまちづくり施策でもありますことから、本年度も継続してまいります。

観光まちづくり事業についても、毎年、多様なアイデアが寄せられ成果を上げており、またこれは「プラスワン」のみんなで進める協働のまちづくり施策でもありますことから、本年度も継続してまいります。

まいります。

温泉センターにつきましては、町の観光にとって象徴的かつ重要な施設であることから、今後も適宜、必要な修繕等を行い、維持管理を行ってまいります。

■情報

令和3年度から庁内DXに取り組み、4年度には全庁的な業務量調査を実施したうえで、5年2月に日の出町DX推進方針を策定いたしました。今後はこの推進方針に基づき、国や東京都の推進計画等と整合性を図り、日の出町の規模にふさわしい「人」にやさしく、あたたかいデジタル化」を推進し、便利で豊かな暮らしが営める日の出町の創造を目指して取り組んでまいります。また、町の情報発信の中心でありますホームページについてより見やすいものへの改善を行ってまいります。

4 豊かで創造性に富んだ児童・生徒を育成するための教育の充実による人づくり

■学校教育

新たな時代に向けたより質の高い学校づくりを目指し、誰一人取り残すことなく、一人ひとりの可能性を最大限に引き出し、子どもたちが持続可能な社会の創り手としての基盤を育む学校づくりを進めます。

学校づくりに当たっては、学校が自らの使命を全うする自己完結型の学校づく

りだけでなく、家庭や地域との連携協働型の学校づくりを進め、「地域の中の学校」「地域に開かれた学校」として、次代を担う子どもたちの学びや成長を地域と共に支える取り組みを推進してまいります。

また、日の出町の豊かな自然、伝統文化、人と人の絆が醸成された地域コミュニティ等のまちの魅力を教育資源として学習に取り入れ、地域をフィールドとした教育活動を一層推進してまいります。

学校教育においては、障がいのある子どもとの自立と社会参加を目指した取り組みを含め、「共生社会」の形成に向けた重要な役割があり、支援を必要とする児童・生徒の自立や社会参加を見据え、個々の特性や学びの状況に応じたきめ細かな支援ができる多様な柔軟な仕組みの整備が必要です。このことから、本年4月に平井中学校に情緒等支援学級を設置し、支援を必要とする児童・生徒の教育的ニーズに的確に応える教育の機会を提供できるようにしてまいります。

安心・安全、快適で豊かな学校整備・環境の整備を行うため、町内全校の特別教室等へのエアコン設置・更新工事を引き続き進めてまいります。また、大久野中学校屋内運動場屋根の改修工事を行います。

学校給食センターについては、調理員等へ衛生管理に対する意識の徹底を図り、安全でおいしい給食を提供してまい

ります。

あきる野市との(仮称)あきる野市・日の出町新学校給食センター共同整備・運営方針(実施計画)(案)に基づき基本設計及び実施設計のため、あきる野市への負担金を予算計上いたしました。新学校給食センター稼働までの間は、必要な施設及び設備の維持管理を適切に行い、費用対効果を考慮して安定した給食提供に努めてまいります。

■生涯学習・スポーツ・地域伝統文化等  
社会情勢の変化とともに多様化する時代において、幅広い生涯学習講座、図書館サービスの充実を図り、新しい時代に則した生涯学習社会の形成と町民同士が繋がる生涯スポーツ活動の支援・拡充を図ってまいります。

施設整備として、学び、町民の皆さまが集い生涯にわたって身近にスポーツを楽しんでいただくなど、地域コミュニティの場である社会教育施設の修繕・改修及び社会体育施設の大規模改修工事を行います。

また、令和4年11月に、当町に古くから伝承される地域の伝統文化・遺産の一つである「下平井の鳳凰の舞」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。この登録により日の出町の誇りがまたひとつ生まれたことに、皆さまとともに慶びを分かち合いたいと思います。このことを記念して町にある郷土芸能を含め、地域

の財産を積極的にアピールし、盛大に「郷土芸能まつり」を開催する特別補助金を予算計上いたしました。引き続き、その保存・継承の支援に努めるとともに、観光事業等とのタイアップにつなげてまいります。



5 総合文化体育センターの設置推進

平成30年(2018年)3月に「(仮称)日の出町総合文化体育センター基本計画」を策定しましたが、コロナ禍にあつて東京都・東京たま広域資源循環組合との協議等が停滞しております。コロナの収束状況等を勘案し、事業化へ向けた調整・協議等を再開してまいります。

6 環境先進都市ふるさと日の出の推進

日の出町には、三多摩25市1町のため「谷戸沢処分場」「二ツ塚処分場」「二ツ塚処分場の付属施設である「エコセメント化施設」の3つの「ゴミの最終処分

施設があります。

現在まで、地元自治会・町・循環組合の連携協力のもと監視体制を確立し、処分場の安全・安心な管理運営に努めてまいりました。

「環境先進都市ふるさと日の出」を施策の柱の一つとし、町民の生活しやすい、住みやすい環境づくりを町民の皆さまと一緒に、積極的に推進してまいります。

■自然環境

住宅用太陽光発電等の再生可能エネルギーの普及や、エネルギーの効果的な活用を推進いたします。具体的には、「工」住宅促進機器設置費補助金を継続し、太陽光発電や蓄電池、V2H(ビークルトウホーム)の促進、既存住宅の窓と玄関ドアの高断熱改修を補助し、環境に優しく災害にも強い日の出町を目指してまいります。

また、ひので野鳥の森自然公園を中心に、自然環境を保全しつつ緑地の計画的な整備を進めてまいりますほか、イベント等の開催、自然環境教育などでの利活用を推進するとともに、公園内の修景整備を継続的に行ってまいります。

